

平成15年度福祉除雪利用世帯アンケート結果概要

1 世帯構成

「70歳以上の女性単身世帯」が60.7%で最も高く、次いで、「世帯全員が70歳以上の世帯」が23.9%、「70歳以上の男性単身世帯」が5.3%となっている。

2 福祉除雪を知ったきっかけ

「広報さっぽろ」が30.2%で最も高く、次いで、「民生委員」が22.2%、「町内会回覧板」が21.2%となっている。

3 申込の理由

「体力的に除雪できなくなったから」が76.1%、次いで、「配偶者の死亡のため」が12.3%である。

4 間口除雪幅の支障の有無

「支障はなかった」が72.8%となっており、「多少支障があった」「とても支障があった」はあわせると23.7%である。

5 敷地内通路除雪幅の支障の有無

「支障はなかった」が68.3%となっており、「多少支障があった」「とても支障があった」はあわせると27.9%である。

6 除雪の終了時間

「8時まで」で54.4%が、「10時まで」で86.4%が終了している。

7 利用負担金額等

市民税非課税世帯（負担金額 5,000円）が65.5%、市民税課税世帯（10,000円）が24.9%、生活保護世帯（無料）が2.5%であったが、負担金額については「適当」「安い」をあわせると94.1%、「高い」は4.2%となっている。

なお、世帯数が最も多い市民税非課税世帯については、負担金額が「適当」「安い」は95.8%、「高い」は1.9%となっている。

世帯収入をみると、「100～200万円」が37.8%で最も高く、次いで、「200～300万円」で28.0%となっている。

（参考）＜平成14年度事業にかかるアンケートの結果＞

負担金額が「適当」「安い」は88.1%、「高い」は6.4%となっている。

なお、市民税非課税世帯については、負担金額が「適当」「安い」は94.2%、「高い」は5.9%となっている。

8 除雪の従事者

従事者は「近所の人なので安心できた」が44.1%、逆に、「近所の人なので気まずかった」は1.8%となっている。

なお、「近所の人かどうかわからなかった」が28.2%となっている。

9 声かけの感想

「声かけで安心できた」が30.8%、「声かけはしなくてもよい」は29.2%である。

10 利用の感想・次回の利用

「良かった」「まあまあ良かった」をあわせると94.2%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は2.8%となっている。

次回について、「利用する」が89.2%、「利用しない」は5.8%となっている。

(参考) <平成14年度事業にかかるアンケートの結果>

「良かった」「まあまあ良かった」は91.6%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は5.9%となっている。

11 意見等(支障点・改善点など)(自由記載)

全回答数397のうち214で何らかの記載があったが、上位5位(7件以上)の意見をあげると、

- | | | |
|----------------------------|------|-------|
| ・ 「良かった」「感謝している」「安心して過ごせた」 | 108件 | 27.2% |
| ・ 「協力員の方に好意的な対応をもらった」 | 15件 | 3.8% |
| ・ 「範囲(間口・敷地内通路)を広げてほしい」 | 12件 | 3.0% |
| ・ 「除雪時間を早くしてほしい」 | 9件 | 2.3% |
| ・ 「丁寧で誠意のある対応してくれた」 | 7件 | 1.8% |
| ・ 「日中の降雪にも対応してほしい」 | 7件 | 1.8% |

となっている。

平成15年度福祉除雪地域協力員アンケート結果概要

1 性別

「男性」は87.6%、「女性」は12.2%である。

2 年齢

「60歳代後半」が30.8%で最も高く、次いで、「70歳代前半」が25.2%、「60歳代前半」が15.2%となっている。

3 職業

「無職または家事専業」が61.7%で最も高く、次いで、「自営業」が14.7%、「パートタイム・非常勤の従業者」が9.7%となっている。

4 協力の立場

「地域ボランティア（近隣に住む者のひとり）」が51.0%で最も高く、次いで、「町内会役員」が29.2%、「福祉のまち推進員・協力員」が11.7%となっている。

5 個人・グループの別，人数

参加は「個人」が86.3%、「グループ」は11.2%である。

グループの人数は「2～3人」が26グループ（57.8%）で最も多く、次いで、「6～9人」が7グループ（15.6%）、「4～5人」が6グループ（13.3%）となっている。

6 担当世帯数

「1世帯」が70.1%で最も高く、次いで、「2世帯」が19.2%、「3～4世帯」が7.5%となっている。

7 福まちとの関わり

福祉のまち推進センターに「関わっている」が34.4%、「関わっていない」が62.4%となっている。

8 地域協力員を引き受けたきっかけ

「町内会役員からの声かけ」が60.3%で最も高く、次いで「民生委員からの声かけ」が11.5%、「社会福祉協議会からの声かけ」が8.7%となっている。

9 地域協力員の開始年度

「平成12～14年度から」が73.1%、「平成15年度から」が25.9%となっている。

10 除雪の終了時間

「7時～8時」が35.2%で最も高く、「8時～9時」が24.9%、「7時まで」が22.2%となっている。

11 除雪の実施時間の感想

「ちょうどよい」が63.8%で最も高く、「時間はいつでもよい」は26.7%、「早すぎる」は3.2%、「遅すぎる」は2.0%となっている。

12 間口の除雪幅の感想

「現行の幅でよい」は71.6%であり、「もう少し幅を広げてあげた方がよい」は22.2%となっている。

13 敷地内通路の除雪幅の感想

「現行の幅でよい」は58.4%であり、「もう少し幅を広げてあげた方がよい」は36.4%となっている。

14 敷地内通路の除雪幅の実態

除雪幅の実態は「1m以上」が66.6%、「90cm~1m」は21.4%、基準どおりの「80cm」は9.2%である。

15 対象世帯の範囲の感想

「適当である」は75.8%であり、一方、「もっと条件を緩和すべきである」は10.0%、「もっと条件を厳しくすべきである」は5.2%となっている。

16 除雪作業の感想

「少し大変である」は61.6%で最も高く、次いで、「楽である」は19.4%、「非常に大変である」は13.0%となっている。

17 担当世帯からの苦情の有無

「苦情はなかった」が95.3%、一方、「苦情があった」は2.5%となっている。

18 報酬を受け取ることの感想

「必要である」が50.1%で最も高く、「わからない」が22.4%、「必要ない」が12.5%となっているが、そのほかに、個人的には報酬を受け取らないで、地区社会福祉協議会や福祉のまち推進センター等に寄付したと思われる方が9.5%いる。

19 報酬額の感想

「適当」が48.4%で最も高く、次いで、「わからない」が30.9%、「安い」が10.0%、「高い」が4.0%となっている。

20 協力の感想・次回の協力

「良かった」「まあまあ良かった」をあわせると90.3%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は6.0%となっている。

次回について、「協力する」は74.3%、「わからない」は20.5%、「協力しない」は3.2%となっている。

(参考) <平成14年度事業にかかるアンケートの結果>

「良かった」「まあまあ良かった」は91.5%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は6.8%となっている。

21 意見等(支障点・改善点など)(自由記載)

全回答数401のうち108で何らかの記載があったが、上位5位(8件以上)の意見をあげると、

- | | | |
|---|-----|------|
| ・ 「有意義な体験であり、充実感があった」 | 14件 | 3.5% |
| ・ 「雪の捨て場所の確保が必要である」 | 12件 | 3.0% |
| ・ 「どこまで柔軟に対応すべきかわからない。利用世帯から
要求が多くて困る」 | 9件 | 2.2% |
| ・ 「利用世帯はできる範囲の自助努力をすべきである」 | 9件 | 2.2% |
| ・ 「これからもぜひ協力したい」 | 8件 | 2.0% |

となっている。

平成15年度福祉除雪地域協力団体アンケート結果概要

1 地域協力団体を引き受けたきっかけ

「災害防止協力会から誘われて」が46.4%で最も高く、次いで、「社会福祉協議会」が28.6%、「札幌市」が13.1%となっている。

2 担当世帯数

「5世帯以下」が36.9%で最も高く、次いで、「6～10世帯」が29.8%となっている。

3 協力開始年度

「平成12～14年度から」が85.9%、「平成15年度から」が14.1%となっている。

4 敷地内通路の除雪幅の実態

除雪幅の実態は「90cm～1m」が62.4%、「1m以上」は25.9%、基準どおりの「80cm」は11.7%である。

5 担当世帯からの苦情の有無、内容

「苦情はなかった」が64.7%、「苦情があった」が35.3%となっている。

苦情の内容としては、「実施時間が遅い」「除雪の方法が悪い」などである。

6 実施方法の感想・次回の協力

「今回の実施方法でよい」が73.1%、「改善すべきである」は17.9%となっている。

改善点としては「利用世帯への内容の説明を十分行ったうえで該当にしてほしい」などである。

次回については、「協力する」が82.7%、「わからない」は14.8%、「協力しない」は2.5%となっている。

7 意見等（支障点・改善点など）（自由記載）

全回答数85のうち21で何らかの記載があったが、意見としては、「申込世帯の審査を十分に行ってほしい」（4件 4.7%）などである。

平成15年度福祉除雪事業にかかるアンケートの結果の概要について

福祉除雪事業については、例年、事業終了後、3月下旬～4月下旬にかけて、利用世帯、地域協力員（個人）及び地域協力団体に対して、郵送によりアンケートを実施し、事業の検証を行っている。

平成15年度福祉除雪事業にかかるアンケートの結果の概要については、下記のとおりである。

1 利用世帯に対するアンケート

利用世帯3,510世帯のうち無作為に500世帯を抽出し、アンケートを実施したが、そのうち397世帯から回答があった。（回答率 79.4%）

・ 利用負担金額等

アンケートの回答があった世帯の課税別の割合は、市民税非課税世帯（負担金額 5,000円）が65.5%、市民税課税世帯（10,000円）が24.9%、生活保護世帯（無料）が2.5%であったが、負担金額については「適当」「安い」をあわせると94.1%、「高い」は4.2%となっている。

なお、世帯数が最も多い市民税非課税世帯については、負担金額が「適当」「安い」は95.8%、「高い」は1.9%となっている。

世帯収入をみると、「100～200万円」が37.8%で最も高く、次いで、「200～300万円」で28.0%となっている。

（参考）＜平成14年度事業にかかるアンケートの結果＞

負担金額が「適当」「安い」は88.1%、「高い」は6.4%となっている。

なお、市民税非課税世帯については、負担金額が「適当」「安い」は94.2%、「高い」は5.9%となっている。

・ 利用の感想・次回の利用

「良かった」「まあまあ良かった」をあわせると94.2%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は2.8%となっている。

次回について、「利用する」が89.2%、「利用しない」は5.8%となっている。

（参考）＜平成14年度事業にかかるアンケートの結果＞

「良かった」「まあまあ良かった」は91.6%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は5.9%となっている。

2 地域協力員に対するアンケート

企業等に属していない地域協力員1,431人から無作為に500人を抽出し、アンケートを実施したが、そのうち401人から回答があった。（回答率 80.2%）

・ 報酬額の感想

「適当」が48.4%で最も高く、次いで、「わからない」が30.9%、「安い」が10.0%、「高い」が4.0%となっている。

(参考) <平成14年度事業にかかるアンケートの結果>

報酬額が「適当」は41.8%、「わからない」は33.5%、「安い」は7.4%、「高い」は6.0%となっている。

・ 協力の感想・次回の協力

「良かった」「まあまあ良かった」をあわせると90.3%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は6.0%となっている。

次回について「協力する」は74.3%、「わからない」は20.5%、「協力しない」は3.2%となっている。

(参考) <平成14年度事業にかかるアンケートの結果>

「良かった」「まあまあ良かった」は91.5%、一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は6.8%となっている。

3 地域協力団体に対するアンケート

企業等の地域協力団体105団体に対してアンケートを実施したが、そのうち85団体から回答があった。(回答率 81.0%)

・ 実施方法の感想・次回の協力

「今回の実施方法でよい」が73.1%、「改善すべきである」は17.9%となっている。

改善点としては「利用世帯への内容の説明を十分行ったうえで該当にしてほしい」などである。

次回については、「協力する」が82.7%、「わからない」は14.8%、「協力しない」は2.5%となっている。

平成15年度福祉除雪事業にかかるアンケートの結果の概要について

1 利用世帯に対するアンケート

・ 利用負担金額等

課税別世帯の割合としては、市民税非課税世帯（負担金額 5,000円）が65.5%，市民税課税世帯（10,000円）が24.9%，生活保護世帯（無料）が2.5%であったが、負担金額については「適当」「安い」をあわせると94.1%，「高い」は4.2%となっている。

なお、世帯数が最も多い市民税非課税世帯については、負担金額が「適当」「安い」は95.8%、「高い」は1.9%となっている。

世帯収入をみると、「100～200万円」が37.8%で最も高く、次いで、「200～300万円」で28.0%となっている。

（参考）＜平成14年度事業にかかるアンケートの結果＞

負担金額が「適当」「安い」は88.1%，「高い」は6.4%となっている。

なお、市民税非課税世帯については、負担金額が「適当」「安い」は94.2%，「高い」は5.9%となっている。

・ 利用の感想・次回の利用

「良かった」「まあまあ良かった」をあわせると94.2%，一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は2.8%となっている。

次回について、「利用する」が89.2%，「利用しない」は5.8%となっている。

（参考）＜平成14年度事業にかかるアンケートの結果＞

「良かった」「まあまあ良かった」は91.6%，一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は5.9%となっている。

2 地域協力員に対するアンケート

・ 報酬額の感想

「適当」が48.4%で最も高く、次いで、「わからない」が30.9%，「安い」が10.0%、「高い」が4.0%となっている。

・ 協力の感想・次回の協力

「良かった」「まあまあ良かった」をあわせると90.3%，一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」は6.0%となっている。

次回について「協力する」は74.3%，「わからない」は20.5%，「協力しない」は3.2%となっている。

（参考）＜平成14年度事業にかかるアンケートの結果＞

「良かった」「まあまあ良かった」は91.5%，一方、「あまり良くなかった」「良くなかった」

は6.8%となっている。

3 地域協力団体に対するアンケート

- ・ 実施方法の感想・次回の協力

「今回の実施方法でよい」が73.1%、「改善すべきである」は17.9%となっている。

改善点としては「利用世帯への内容の説明を十分行ったうえで該当にしてほしい」などである。

次回については、「協力する」が82.7%、「わからない」は14.8%、「協力しない」は2.5%となっている。